

内野 嘉広

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 市民スポーツのあり方について (25分)</p> <p>ソチ冬季五輪に、男子ボブスレー日本代表として、本市出身の佐藤真太郎選手が出場いたしました。当市出身者として五輪出場は初めてのことであり、埼玉県で生まれ育った選手としても、冬季五輪出場は2人目という快挙であります。本市出身のアスリートが世界の舞台で活躍されることは、地元の子ども達やスポーツに取り組む学生たちに大きな夢と希望を与え、市民にとっても大きな誇りとなりました。</p> <p>年明けに行われた箱根駅伝においても、鶴ヶ島駅を利用されている東洋大学が優勝を飾り、当市におけるスポーツ意識の高揚は、一段と高まっているものと思われます。</p> <p>スポーツは、個人、団体において、体力維持・向上の健康づくりや専門的な競技記録の向上等だけでなく、人と人との交流、仲間づくり、地域コミュニティの拡大など、多岐にわたって市民一人ひとりの生活に関わっております。</p> <p>現在、本市の市民スポーツの推進にあたっては、各種スポーツ団体の取りまとめやスポーツイベントの開催など、市に事務局を置く体育協会を主体として取り組んでおります。この体育協会が、今後、NPO法人として市から独立して運営していく方針であることから、より市民に密着した活動環境のもとで、市民目線、地域目線の市民スポーツの推進に取り組んでいただきたいと希望しております。</p> <p>子どもから高齢者まで、健康増進を目的にする市民からアスリートを目指す市民まで、幅広く取り組んでいかなければならない市民スポーツについて、市として、今後どのような方向性をもって取り組んでいくのか、市民スポーツのあり方について、これらのこと踏まえて質問いたします。</p> <p>(1) 体育協会のNPO法人化について (2) 市民体育祭の現状について (3) スポーツと地域コミュニティとの関わりについて (4) スポーツによる健康づくりについて (5) 行政として取り組むべき市民スポーツの考え方について</p>	市長 教育委員会委員長

内野 嘉広

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>2 予期せぬ天候災害について (15分)</p> <p>2月中旬の二週続けての記録的な大雪は、市内の交通機能はもとより、市民生活に大きな影響が出ました。秩父で98cm、熊谷で68cmの積雪があり、熊谷気象台観測史上最大の積雪を記録しました。関越自動車道や圏央道は通行止めになり、市内のあちこちで車の立ち往生が相次ぎ、雪の重みにより数多くのカーポートやビニールハウスなど簡易的な建築物は軒並み倒壊し、富士見市では市民総合体育館のメインアリーナの屋根が全崩落するなど、その想定外の積雪量には驚嘆いたしました。</p> <p>こうした状況の中で、市民からも積極的な市の対応を求める声を多く聞きました。</p> <p>本市は、周りに海や山がなく、平坦な地形であることから、比較的に災害に強い地域であるという意識がどこかに芽生えているような気がします。東日本大震災の教訓を生かし、鶴ヶ島市地域防災計画の見直しが行われましたが、今回のような予期せぬ大雪やゲリラ豪雨などの天候災害についても、市民生活の安全を確保するために緊急的、効率的な対応をしていく体制づくりも必要であると思います。</p> <p>このようなことを踏まえて、こうした状況下における、市民生活の安全確保のために、市として行うべき緊急的な対策についてお聞きします。</p> <p>(1) 市内の積雪による災害状況について (2) 予期せぬ天候災害時の緊急対策について</p>	市長
<p>3 農業大学校の跡地活用及び周辺整備について (20分)</p> <p>農業大学校の跡地活用については、平成24年12月に質問し、周辺整備を含め基本的な方向性として、県による農業大学校跡地への企業誘致、市による周辺緑地、水辺の保全、そして、運動公園2期整備の三位一体として、進めていくとのご答弁をいただきました。その方向性を踏まえて、本年度には、県では「圏央鶴ヶ島IC県有地への産業集積検討業務」を、市では「鶴ヶ島市農業大学校周</p>	市長

内野 嘉広

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>「辺地域整備検討業務」をそれぞれ行い、具体的な整備に向けて取り組んでおられます。</p> <p>昨年11月26日付け埼玉新聞に、農業大学校跡地活用に関する埼玉県知事の会見が掲載されております。その中で、跡地活用の活用方針についての質問に対して、知事は、「極めて重要な最高の土地であり、最大限活用できるようにしたい。」「例えば、先進的な基礎研究施設などの移転、そこで実験されたモデル工場が近くにできる。マザー工場ができるゆえに何かが集積してくる、というようなものになれば一番いい。」「時代の最先端の技術研究施設みたいなものを誘致したい。」との発言がありました。また、「鶴ヶ島市からも要望が出ており、この要望もできるだけ踏まえなければならない。」とも発言されております。知事の跡地活用に向けての並々ならぬ意欲を感じました。</p> <p>今年度取り組まれている事業を含め、県と連係して進められていこととは思いますが、これまでの経緯も踏まえて、跡地活用及び周辺整備についてお聞きします。</p> <p>(1) 現在の進捗状況について (2) 周辺緑地、水辺の保全の考え方について (3) 周辺のインフラ整備について (4) 今後の事業計画及びタイムスケジュールについて</p>	